

日本共産党第29回大会第1回岩手県党会議 達増拓也知事が「県民本位の県政実現」にむけ決意表明！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

2月10日、盛岡市玉山・姫神ホールで、第29回党大会第1回岩手県党会議が開催されました。

4年ぶりに開催された党大会の決定を受けて、この1年間の活動を振り返り、岩手県党の向こう1年間の方針を確認しました。

来賓として達増拓也岩手県知事、立憲民主党の横沢高德参議院議員、社民党の木村幸弘県議員から祝辞をいただきました。



左から 高田県議、吉田恭子定候補、高橋ちづ子衆院議員、木村幸弘県議、達増拓也知事、横沢高德参院議員、斉藤信県議

なっているれば、全国的にも大きな勝利を得ることができたと思われま。

そういう意味で「しんぶん赤旗」が広く知らせ、広く知られるようになり、日本共産党の地方での活動が大きな役割を果たしたと思います。

30年間、日本経済が低迷し、実質賃金の下がり、若い世代の可処分所得が下がり、子育てが難しく、人口減少につながっていると思います。

そして、近年なかったような戦争が起きています。

日本から平和にする状態をつくっていくことが求められています。

達増拓也知事は、冒頭、県知事選挙で、大変厳しい選挙となる中、日本共産党には準備の段階から協力をいただき勝利を勝ち取ることができ「新しい選挙ができたと思っている」と述べ謝意を表しました。以下祝辞の概要を紹介いたします。

いつせい選挙時に、今問題となっている「パーティー」の構造的問題が明らかに



達増拓也岩手県知事

日本共産党市議団の 一般質問は次の通りです

○質問は2月21日午後2時頃から

1. 上下水道の災害時の被害対応について
2. 農業経営環境改善に向けた取り組みについて（・担い手不足と遊休農地 ・新規就農者支援 ・生産費高騰対策 ・畜産物の販路拡大）



千葉 敦 議員

○質問は2月22日午後1時頃から

1. 子どもが産めるまちへの体制づくりについて
2. 公共施設トイレへの生理用品の設置について
3. 災害対策での女性の視点の必要性について



佐藤 美雪 議員

○質問は2月27日午前10時から

1. 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の創設について
2. 高額な国民健康保険税の早期解消について



瀬川 貞清 議員

○質問は2月27日午後2時頃から

1. 指定避難所の防災備品の整備状況について
2. 空き家の現状と対策について



菅原 明 議員



今野 裕文 議員

○質問は2月28日午後1時頃から

1. 「市民と親しく懇談する場」の考え方にについて
2. 新型コロナウイルス感染症対策について

地方から、岩手からぜひそういう形をつくっていくことが必要と思う。ぜひそういう形にしたい。県としても、しっかり取り組んでいきたい。岩手において、県民本位の地方自治を進めていきたいと思っています。

「しんぶん赤旗」の 報道で今日がある

高橋ちづ子衆議院議員は、第29回党大会の成功を実感するとし、決定の実践の先頭に立つ決意を表明しました。

阪神淡路大震災から15年、今、神戸からの追い出しが始ま



高橋ちづ子衆議院議員

今回、岸田首相は、「高齢者で、能登半島の奥の方に住んでいる方に限って『300万円』を

っている。そのため東北でも「追い出されるのか？」という声が出ています。そういう中、昨日（9日）、「同じ苦しみを味わなくても良いはずだ」という思いで（国会）質問に立ちました。阪神淡路大震災の時に、「住宅再建支援金」制度を議員立法で国会に出しました。その時は成立しなかったが、その後「300万円」の支援制度になった。

加算すること表明しました。しかも、関係する防災担当者はそのことを知らされておらず、「ヤフーニュース」で見つけたという状況です。岸田首相は追い込まれているのではないかと思います。「パーティー」問題でも、所属議員へのアンケートはふざけた中身で、「しんぶん赤旗」の報道で今日がある。ここに確信をもつて前に進もうと訴えました。

また、国政を変えるには、野党共闘がどうしても必要だが、足並みがそろっていない。そういう中での達増拓也知事の激励は大変大きいと思う。来るべき総選挙で、吉田恭子予定候補と一緒に頑張ると決意をのべました。